

利己的利益の最大化

私たちの社会は、自己利益を最大化するシステムに組み込まれています。政府自体が、国民一人ひとりの利己的意識を煽り立て、社会を活性化しようとしているように見える。

利己的な社会が、私たちにとって、いちばん安心し

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2011年9月5日 (月) NO. 225
 地域から明るい未来を作ろう

て生きていける社会でしょうか。自分の利益を最大化するように行動しなさい。儲からな

い仕事はやめて、市場経済の一員で

ある個人は、いちばん稼げる所に行きなさい。儲からない仕事は悪い仕事。お金をたくさん儲かる仕事がいい仕事の世界。

あなた自身は市場経済の商品だから、自分を高く売るようにと仕向けられます。そして自由競争で個人の価値が決まりますから、競争の結果は自己責任です。どんなに困っても誰も助けてくれません。必死で自分を守らなければなりません。結果、私たちは自らの利己的な利益にしがみつかざるを得ないように、仕向け

愛と思いやり

られています。

どんなに思いやりのある人間であっても、社会全体が利己的なものであった場合、「利己的」になることは非情に難しいものです。

日本の官僚は優秀とは「原発の安全神話」です。何が優秀なのでしょう。バカな政治家を手なずける手腕は、情報量が決め手です。権力機関を持つ国税庁職員は個人情報の分析力。国内の諜報機関をしのぎ、長年蓄積した金の動かし方、預金の動きだけで、思考や性格が不純か、卑しいか簡単に見抜けます。実に簡単です。

共同体意識の社会を破壊してきたのが、自民党政権の政策であった訳です。個人は独立した存在、社会に属している一人の人間で国民である、共同体の認識が薄れてきた。

そして、お金が人生における最大の基軸となった。これは、売国政策が成功した査証であります。

我が国の間違った方向付けとシステムが、日本文化を破壊し、人間が本来持っている生物レベルからの叫び、本質的な価値である人

政治家は財務省の手中で操られ、時には間接的にリークされます。時に及んで「無策」「無能」な日本のバカな政治家が世界に

との関わりに「社会的動物」の根源に、あつれき(あらそい)を残したのです。

思いやりや優しさ、愛は決してお金では買えない。人間は愛と思いやりを絶対に必要とします。

「最小不幸社会」の卑しい、にやけた民主のボケ顔に、無性に腹が立つ。二度と見たくない顔だ。



執着を離れる

政治家は財務省の手中で操られ、時には間接的にリークされます。時に及んで「無策」「無能」な日本のバカな政治家が世界に恥をさらしています。これは外国の陰謀と邪推する。国籍を棄てた企業が生き残る。すでに、日本の大企業の経営者の多くが外国人ではないか。納税する意味が、全くない。

